



## 分散型で自由なインターネットの思想を

### 新しい一太郎とジャストネットに込めた

出荷数累計400万本にもせまろうというほど普及したワープロソフト一太郎。ジャストシステムが8月に発売する新作「一太郎 Ver.6.3 for Windows」ではインターネットへの接続機能を搭載。このソフトを使ってインターネットへつなげるネットワークサービス「ジャストネット」も開始する。8月25日から東京アクセスポイントでいよいよ実験サービスをスタートする。なぜ、インターネットビジネスを始めるのか、ジャストシステム社長・浮川和宣氏が語る。

インターネットは  
特別であってはいけ  
ない  
とてもスタンダードな  
もの

一太郎でインターネットへ接続、ジャストシステムがネットワークサービス参入と聞いて驚かれるのは、皆さんがネットワークはパソコンビジネスと別世界だと考えていたかもしれないですね。インターネットは特別なものだと思っているんじゃないでしょうか。私はもっと当たり前になると思っています。インターネットで何をしているかという

コンテンツ面からいえば、8月からの暫定版では、まだ情報の提供が始まるという程度で、そこから少しずつ情報の売買へと広がっていきます。何らかの企業活動がそこで行われ、人が集まる感じになります。放送メディアのような見るだけの番組ではなく、インタラクティブ性のある、実用的なものにしたいと思っています。どういう形で有料化するかはいま議論していますが、課金システムもインターネットという世界の流れがありますから、それに合わせて作っていかねばなりません。



の何割か、または社会生活の大半が、コンピュータネットワークで行われるようになるということです。人によってはハイパーネットワークソサエティという人もいれば、サイバーワールドという人もいますが、実際に、我々の生活は、情報空間の中にもものすごい勢いで入ってくる。

距離間がなくなるという意味では、都会も田舎もなくなります。とくに、日本の社会を考えると、コンピュータネットワークによって変わってくる要素はたくさんあると思います。

ジャストネットには、バーチャルコーポレーションも確実に存在するようになるでしょう。オフィスに集まるということが、いよいよなくなる可能性もある。徳島に住んでいると、そんな世界になっていくことが加速されているような気がするんですよ。

インターネットを使っていると、早くこういう世界がきてほしかったなと思うんですよ。インターネットは思想的にもすばらしいと思うんですよ。非常に分散的であったり、平等であったり、言葉は合ってるかどうかわからないけど、フェアな世界だと思うんですよ。そこが早く広がるように、私個人も、ジャストシステムとしても、活動していきたい。

ジャストネットの中に、第2のジャストシステムが生まれる可能性？それはものすごくやりたいです。夢がありますね。

ゆくゆくは、ジャストシステムが作っているLAN上のソフトウェアとも整合性をとって

いきたいと思っています。LAN上で作られるファイルの構造もジャストネット用に変えて、すべてシームレスにしていきたいと思っています。

つまり、企業内と企業の外とを結ぶ場合、その標準になるのは何かといたら、それはインターネットだと考えています。個人と外を結ぶのも同じです。すべてインターネットがスタンダード。そこへの入り口、ゲートウェイサーバに、ジャストネットがなるわけです。

社会生活の大半が  
ネットワークに  
取り込まれていく

私が今考えていることは、将来、GNP

## 私がジャストネットを始める理由

# 浮川 和 宣 氏

ジャストシステム社長

と、みんな文字を見ているだけでしょ。あるいはWWWをブラウジングしているだけ。では、なぜ、ワープロで作った文字、画面が通信で送れないのか、不思議だと誰もが思うような世界にならないといけないと思うんですよ。

一太郎 Ver.6.3 では、初めてインターネットを使う人がボタンを押すだけで接続できます。アイコンをクリックすれば、ジャストネットへログインできます。そこからWWWブラウザでネットサーフィンができます。編集中の画面をアイコン操作でダイレクトに送信できるジャストメールという機能もあります。一太郎は、OSではないのでランチャーではありません。いま作っている文章、画面が、そのままネットワークにつながっていく感じです。

## 一太郎Ver.6.3に 込められた思想は インターネットそのもの

日本人は、自分たちが生活していく中で、上から何の情報も送られてきているのか、自分たちの企業に何に関係してくるのか、そんなことをちゃんと考えているでしょうか。情報を外に出していかないと、社会というものはよくならない。平成維新じゃないけれど、日本は絶対変わらないと、一極集中も直らないし、日本人の自己確立もできない。責任のないところに自由はない。その根本的なところに行き着くと、誰にとっても情報がまんべんなく、チャンスが平等に行き渡るようにならなければいけないと思う。そういう思想が、ジャストネットと一太郎Ver.6.3に込められています。

一企業として何をすべきか考えたときに、世の中どちらに向いているかを考えてチョイスしますよね。360度ビジネスとして見回したとき、たとえば一太郎としてどの方向に進んだらいいか考えたときに、いま考えてやっていくのは絶対こっちだなと。意志というより、これは執念ですよ。おかげさな言い方をすれば、インターネットは日本の社会がよくなっていく1つの大きな形に違いないと。(笑)

ベルリンの壁が壊れた、ソビエトがなくなった、全世界でそれが起こっているということです。全体主義的なこと、管理主義的なこと、中央集権的なことは、いくら天才たちを何千人集めてもできないんですよ。それがソビエト崩壊に現れている。つまり、その原動力は何かというと、自由であること、技術的な言葉で言うと「分散型」なんです。それは混沌と呼ぶこともできるものですが、それぞれ自分たちの思想をもってやっていくという責任の生じることでもある。

大きな社会の流れの中で、私自身も、何が心地よいか、どっちを向こうかというときに、やはりより自由なほうでいきましょうということで、インターネットを選択し

た。それは地方分権を象徴していたり、日本全体をよくすることであったり、日本人の自己確立につながったりすることなので、やりましょうということですね。

## 一太郎Ver.6.0と Windows95版との間に 突然6.3の発売を決意した

私自身も、ジャストシステムとしても、ずっと前からネットワークビジネスをやりたい、ネットワークが社会を変えたいと思っていただけではないんです。少しずつ事業が大きくなっていくうちに、いろいろな問題にぶち当たって、少しずつ形になってきたことです。

Windows95が出ると、それに対応する製品も作らないといけません。一太郎Ver.6.0が発売されたのは今年の1月ですけど、年内か、来年の1月ぐらいには、もう次のWindows95バージョンを出さないといけない。長い流れのなかで開発投資をしている分にはいいんですけど、そのど真ん中に、突然6.3の開発が入ってしまった。そんなことをやるうとは、誰も思わないでしょうね。普通は、だけど、少しでも早く、そういうサービス、インターネットの思想を提供していきたいから、始めることにした。他社がネットワークサービスをやるからでしょうなんて言う人がいるかもしれないけど、そんなことは決してない。去年はそこまでの決心がついていなかったというだけのことです。やっと決意が固まったんです。

## ジャストネットは インターネットへの 入り口の1つにすぎない

ネットワークが全生活のシステムに入り込むことを考えているかどうか、ネットワークビジネスの鍵になると思いますよ。オンラインショッピングとか、一部だけを見てはやっていけない。

商取引なども含めて、社会生活の多くが

ネットワークに取り込まれるようになる時代に、1社や2社、たとえ100社あってもそれらを支えきれないはずがないんですよ。今、物を買うのにデパートはたくさんあるでしょう。1つの店が席巻してしまうような状況はない。世界をまたにかけている商社が全部日本の産業を席巻しているわけではない。それが当たり前。ネットワークの中を1つの会社が独占してしまうなんて不可能です。

たとえばパソコンのOSなんて、社会生活のなかでは小さな世界。誰もOSのことを気にして生きているわけではない。でも、コンピュータ・ネットワークのことになると、全部の社会生活にかかわってくるほど大きな問題なんですよ。自動車ほどの巨大産業でも1社が全部支えているわけではないでしょう。だから、ジャストシステムがコンピュータネットワークを全部支えるなんてことはできるはずがない。

今はジャストシステムがネットワークビジネスに参入したと珍しがられているけど、10年たったらどんなところもネットワークビジネスをやっている、ワン・オブ・ゼムになっているでしょう。ジャストネットはそれでいいわけです。大企業だけが日本のビジネスを支えているわけではない。中小・零細すべてネットワークビジネスを始めていて、それがグローバルにインターネットでつながっているというようになるでしょう。そしてそれは、社会生活に密着したものにしているでしょう。

今のパソコン通信ネットワークのように、どこのホストを見ても同じような情報があって、何重に存在しているというのとは、違ってくると思います。今のコンテンツは、試しにそこに載せてみようという考えで情報を掲載しているだけで、まだ差別化が始まっていない状況ではないでしょうか。でも、これからは、こういうものは大きなところで、これは1万人相手でもいい、特徴を出したいということも出てくるでしょう。マスメディアと違って、大きいことはいいことだという世界でもないですから。

## 一太郎だったら使える そう思う人たちが インターネットに入ってくる

一太郎ぐらいだったら使えるよと思う人はいるでしょう。「何だ一太郎か?」と言われるのは心外だけど(笑)、逆にそれぐらい普及しているというのは日本では一太郎ぐらいしかないかもしれない。だから、一太郎だからいろいろな人が世界へ、インターネットへ入っていきけるというのは、あるんじゃないかな。このマインドは、日本人に必要なものだと思いますよ。キャッチフレーズは「一太郎から世界へ」です。

インターネットは英語だから英語が使えないと生きていけないんじゃないかと言われることもあるけど、そうじゃないでしょう。英語ができてコミュニケーションをしやすくなるという努力目標はあっても、そんな特別なことではなく、もっと我々の生活そのものだと考えることです。インターネットが日常会話と同じようにあってもいいですよね。世界だけでなく、日本の中でも生活の場になるんだから。アメリカ人から見て、英語しか使えない人しか入ってくるなという思想は、逆にインターネットじゃないと思いますね。一太郎Ver6.3には英和/和英辞書がついています(笑)。

インターネットの時代には、日本人一人一人が、アイデンティティがあるかどうかということも大事な問題です。アイデンティティがないかぎり、インターネットに入ってきてきてもだめだと思います。ホームページというものは、アイデンティティの放出だと思います。HTML文書を簡単に作る機能もついてるんですよ。個人のホームページをジャストネットに登録できるようにするかどうかは、いま議論しています。

私たちは、特殊な一太郎を作ったつもりはないんです。たとえば、ワープロソフトとして使いたいと思って一太郎Ver.6.3を買って、実際インターネットを日常的に使う

人は1割しかいないとします。それでも、一太郎を買った人の3割か4割の人が、じゃあモデムでも買って接続してみるかと思ってくれただけでも、私たちが何もしなかったよりは、ずっといいと思います。

## ネットワークの中に 新しい社会システムを 提示できればいい

私たちは今、将来に向けて、新しいコンピュータのアーキテクチャーを作っています。人間がコンピュータネットワーク上で生きていけるシステムを作りたいんです。情報世界、論理的な世界ですね。物理世界の制約を取り払ったときに、人間はこういうふうに生きていけるんじゃないか、こういう社会システムがありえるんじゃないかというようなものを、この中でできるんじゃないかと思っています。要は何かかという、一種のシミュレーション社会。子供も大人もいるけどそれによって差別されない完璧なボーダレス社会。人間というのは、当たり前だと思っていることが、実は物理的制約、重力の制約、人と人との距離だとか、いろいろな要素でマインドコントロールされていますからね。そういうものから解放されるネットワーク上の社会システムを研究しています。

たとえば、学校に行かなければいけないということが、いっぱい弊害を生んでいる。最低限の読み書きを教えて子供が社会に出ていくことを助けることと、学校に登校しなさいということが、どこで結びついたのかを考えてみる。それに変わるシステムを提示できれば、もう1度、なぜ学校に行かなければならないかということを考えないといけない。学校に行かなくてもいいというチョイスがないから、自殺までおきる。ネットワークが問題解決になるとは思わないけど、もう1つのチョイスになるものを出すことはできるかもしれない。

学校でコンピュータを使って授業をするぐ



らいなら、学校に行かなくてもいい授業のシステムをネットワークで考えられるほうが、ずっと進歩的ですよ。ネットワークがそういうものを取り込んでいくのであれば、社会がどういうシステムに変わったらいいかという大きなビジョンを持たないとダメですね。

### 編集部から

ジャストネットの特徴として现阶段でいえることは、一太郎という簡単なソフトで使えるということにつける。インタビューした7月初めの時点では、出店するテナントの内容も決まっておらず、コンテンツのイメージは今ひとつはっきりしなかった。しかし、インターネットへの接続環境の選択肢として、ジャストネットは今後大きな役割を果たささう。「早くこういう世界がきてほしかった」とインターネットについて話す浮川氏の言葉が印象的だった。

### ジャストネットの概要

サービス開始：96年1月  
アクセスポイント：開始時点で50か所を予定  
会員数見込み：98年までに100万人以上  
出店社誘致見込み：98年までに500社以上  
アクセス料金体系：未定  
アクセスソフト：一太郎Ver.6.3 for Windows  
無料実験サービス：8月25日東京で開始



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)